



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月2日

上場会社名 朝日放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9405 URL <http://corp.asahi.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)協阪 聡史
 問合せ先責任者 (役職名)経理局長 (氏名)角田 正人 (TEL)06-6458-5321
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	19,369	△3.9	656	△6.9	816	△8.0	477	△22.7
29年3月期第1四半期	20,147	3.9	705	27.9	887	18.5	617	30.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 618百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △24百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	11.69	—
29年3月期第1四半期	15.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	100,154	61,136	56.6
29年3月期	101,979	61,274	55.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 56,640百万円 29年3月期 56,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	17.00	26.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,100	△4.3	1,000	△6.8	1,100	△12.8	700	△20.8	17.14
通期	80,500	△2.2	4,100	△17.5	4,300	△18.3	2,600	△23.9	63.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期1Q	41,833,000株	29年3月期	41,833,000株
30年3月期1Q	996,087株	29年3月期	996,087株
30年3月期1Q	40,836,913株	29年3月期1Q	40,836,913株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. (参考) 四半期財務諸表(個別)の概要	9
(1) 個別経営成績	9
(2) 個別財政状態	9
(3) 個別売上高の内訳	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)の日本経済は、個人消費に回復の動きがあり、また企業の輸出増加などを受けて生産が拡大基調にあることなどから、緩やかな回復基調で推移したものの、米国の政策運営などでは不安定な面があり、景気の先行きは引き続き不透明感が残る状況です。

このような経済状況の中、当社グループが主力事業を展開する放送事業においては、テレビネットタイム収入等の減収により、売上高は減収となりました。ハウジング事業においては、住宅展示場の新規開設に伴う増収等により、売上高は増収となりました。ゴルフ事業においては、来場者数の増加等により、売上高は増収となりました。以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は193億6千9百万円となり、前年同期に比べて7億7千8百万円(△3.9%)の減収となりました。

一方、費用面では売上原価が127億9千1百万円で、前年同期に比べて8億1千7百万円(△6.0%)減少しました。販売費及び一般管理費については59億2千万円となり、8千7百万円(1.5%)増加しました。この結果、営業利益は6億5千6百万円となり、4千8百万円(△6.9%)の減益、経常利益は8億1千6百万円で7千1百万円(△8.0%)の減益となりました。以上の結果、税金等調整前四半期純利益は8億4千1百万円で1億6千2百万円(△16.2%)の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億7千7百万円で1億4千万円(△22.7%)の減益となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

[放送事業]

放送事業の売上高は164億4百万円となり、前年同期に比べ8億4千9百万円(△4.9%)の減収となりました。テレビネットタイム収入が減収となったほか、子会社のCS放送における委託放送収入の減収等が主な要因です。一方、営業費用は、番組費やネットワーク費等の減少により、全体として前年同期に比べ4.8%減少しました。この結果、営業利益は4億8千5百万円となり、3千2百万円(△6.3%)の減益となりました。

[ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は27億3千6百万円となり、前年同期に比べ6千万円(2.3%)の増収となりました。住宅展示場の新規開設に伴う増収等が主な要因です。一方、営業費用は、住宅展示場の新規オープン費用等の増加により4.2%増加しました。この結果、営業利益は1億5千8百万円となり、前年同期に比べて4千2百万円(△21.3%)の減益となりました。

[ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は2億2千7百万円となり、前年同期に比べ1千万円(4.9%)の増収となりました。来場者数の増加に伴うプレー収入の増収が主な要因です。一方、営業費用は、前期にクラブハウス改修に伴って増加した減価償却費が当期減少したこと等により6.0%減少しました。この結果、営業利益は1千3百万円となり、前年同期に比べて2千6百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ28億4千万円減少して327億6千8百万円となり、固定資産は10億1千4百万円増加して673億8千5百万円となりました。資産合計は18億2千5百万円減少して1,001億5千4百万円となりました。未払金や未払法人税等の支払や剰余金の配当に伴い、現金及び預金が減少し、資産全体として減少しました。

(負債)

流動負債は13億8千万円減少して105億3千8百万円となり、固定負債は3億6百万円減少して284億7千9百万円となりました。負債合計は16億8千7百万円減少して390億1千7百万円となりました。負債が減少した主な理由は、未払金や未払法人税等の支払によるものです。

(純資産)

純資産合計は1億3千7百万円減少し、611億3千6百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益4億7千7百万円を計上する一方、剰余金の配当6億9千4百万円を行いました。また、保有する投資有価証券の時価が下落したため、その他有価証券評価差額金が3千5百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は想定範囲内で推移しているため、第2四半期連結累計期間及び通期連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想のとおりとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,082	14,896
受取手形及び売掛金	12,530	12,117
有価証券	1,650	1,850
たな卸資産	2,148	2,226
その他	2,204	1,683
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	35,608	32,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,663	19,424
土地	10,531	10,530
その他（純額）	6,582	6,984
有形固定資産合計	36,776	36,938
無形固定資産		
ソフトウェア	132	182
ソフトウェア仮勘定	744	704
その他	118	115
無形固定資産合計	995	1,002
投資その他の資産		
投資有価証券	17,805	18,500
その他	11,034	11,181
貸倒引当金	△241	△237
投資その他の資産合計	28,598	29,444
固定資産合計	66,371	67,385
資産合計	101,979	100,154

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	-	40
未払金	5,538	4,965
未払法人税等	1,266	156
引当金	104	380
その他	4,908	4,895
流動負債合計	11,918	10,538
固定負債		
長期借入金	-	160
退職給付に係る負債	19,677	19,489
その他	9,109	8,830
固定負債合計	28,786	28,479
負債合計	40,705	39,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,695	3,695
利益剰余金	48,191	47,974
自己株式	△500	△500
株主資本合計	56,686	56,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,985	2,950
退職給付に係る調整累計額	△2,921	△2,779
その他の包括利益累計額合計	64	171
非支配株主持分	4,523	4,495
純資産合計	61,274	61,136
負債純資産合計	101,979	100,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
売上高	20,147	19,369
売上原価	13,609	12,791
売上総利益	6,538	6,577
販売費及び一般管理費	5,832	5,920
営業利益	705	656
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	154	148
その他	33	25
営業外収益合計	197	184
営業外費用		
支払利息	4	2
固定資産処分損	9	21
その他	0	0
営業外費用合計	15	25
経常利益	887	816
特別利益		
投資有価証券売却益	-	24
補助金収入	116	-
特別利益合計	116	24
税金等調整前四半期純利益	1,003	841
法人税等	345	331
四半期純利益	658	509
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	617	477

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	658	509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△820	△33
退職給付に係る調整額	137	141
その他の包括利益合計	△683	108
四半期包括利益	△24	618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△65	584
非支配株主に係る四半期包括利益	40	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,254	2,675	217	20,147	—	20,147
セグメント間の 内部売上高又は振替高	115	5	10	131	△131	—
計	17,370	2,681	227	20,279	△131	20,147
セグメント利益又は損失 (△)	517	201	△13	705	—	705

(注) 1 調整額△131百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,404	2,736	227	19,369	—	19,369
セグメント間の 内部売上高又は振替高	128	5	12	146	△146	—
計	16,533	2,742	240	19,515	△146	19,369
セグメント利益	485	158	13	656	—	656

(注) 1 調整額△146百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

3. (参考) 四半期財務諸表(個別)の概要

平成30年3月期第1四半期の個別業績(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期 第1四半期	15,014	△6.3	457	△25.1	719	△19.7	477	△33.1
29年3月期 第1四半期	16,016	3.2	611	57.2	896	31.8	712	31.9

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
30年3月期 第1四半期	76,757	53,270
29年3月期	78,326	53,526

(3) 個別売上高の内訳

	前第1四半期 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
テレビ放送事業収入				
タイム	4,953	4,439	△513	△10.4
スポット	8,692	8,722	29	0.3
番組販売	598	541	△57	△9.6
計	14,245	13,703	△541	△3.8
ラジオ放送事業収入	712	672	△39	△5.6
その他	1,058	638	△419	△39.6
合 計	16,016	15,014	△1,001	△6.3

(注) 四半期財務諸表(個別)の概要の数値につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。